

平成28年(2016年)熊本地震における 鹿児島支部の活動

鹿児島支部 医療法人玉昌会

飯伏 真一

小川 浩一

平成28年6月26日



サンダーバード鹿児島支部 医療法人玉昌会

- ・ 医療法人玉昌会グループは鹿児島市と県央の姶良市で、医療・介護・保育サービスを提供しています。
- ・ 1957年に19床の有床診療所から始まり2017年には創業60周年、法人創立55周年を迎えます。
- ・ 医療・介護・福祉サービスを通して2025年に向け、国策の「地域包括ケアシステム」構築による「安全で安心できる街づくり」に協力します



基本理念・行動指針

- 基本理念

いつまでも健やかに……

——私たちの願いです。

■行動指針『低賞感微』

低：すべてに謙虚な気持ちで接する（Modesty）

賞：お互いを思いやり敬意を払う（Respect）

感：すべてに感謝する（Thanks）

微：微笑を添えて態度で示す（Smile）



平成27年7月に内閣府まち・ひと・しごと創生本部で行われた日本版CCRC構想有識者会議（第6回）で、「日本版CCRC始良JOYタウン構想」が参考資料として取り上げられました。

始良市の病院移転と一体的な街づくりを実施することにより、地方創生と地域貢献に取り組んでまいります。

参考とした構想・取組事例 医療法人玉昌会（鹿児島県始良市）

鹿児島県始良市において、病院の移転（建て替え）と併せた一体的な整備によるCCRC（「生涯活躍のまち」）の実現可能性を検討。地域包括ケアシステムを基盤とした「コンパクトシティ始良」の構築に協力する「JOYタウン構想」。

◎地域特性：まちなか型

◎事業主体（コミュニティの特徴）： 医療法人

病院を基盤にしたまちづくり

◎地域的広がり：エリア型

新病院のほか、介護、予防、教育、住まい、交流スペースなどの機能を一体的に整備。一般の方や障害者の方が住めるよう整備も検討。

◎住み替えパターン：広域移住型

鹿児島県外に出た人のUターン、地域住民をメインターゲット

◎推進主体・住民

- ・医療法人玉昌会（2病院の運営と在宅サービス事業を実施）
- ・始良市は平成22年度に加治木町、始良町、蒲生町が合併。H27.6現在の人口約76,000人。
- ・始良市のコンパクトシティ化の一翼を担う構想。
- ・地域の中で、多職種・多世代、住民同士が互いに支えながら、住み慣れた地域でその人らしく暮らせる環境を支える仕組み。（ヒューマンライフラインの構築）
- ・鹿児島県外に出た人のUターン、地域住民をメインターゲット。
- ・災害時の対応（隣県からの避難者の可能性）も想定した計画、警察・消防以外でいざというときに24時間かけこんでてもらえる拠点としていきたいとの考え。

◎住まい・まちづくり

- ・厚生年金福祉施設サンピアあいらの跡地（約12,000坪）を利用し、病院を建て替える計画。
- ・新病院（3,000～4,000坪）のほか、介護、予防、教育、住まい、交流スペースなどの機能を一体的に整備し、一般の方や障害者の方が住めるような整備も検討。
- ・残っているホテルの活用も。
- ・鹿児島空港から車で15分、鹿児島市街地まで車で30分。

◎活動

- ・予防医療や介護以外のアクティビティを今後検討。
- ・誰でも利用できる図書館やカフェを通じた交流機会の創出など。

◎ケア

- ・医療エリアでは、慢性期を中心に、急性期から在宅ケアまで持続したケアを実現。
- ・医療介護支援・地域包括ケアサポートなど総合的な相談室の設置。

始良型モデル
JOYタウン構想



現地指令本部としての活動

- ◇ 本日の流れ
 - 熊本地震概要 被害状況について
 - 物的支援、人的支援活動
 - 情報収集について
 - 一般避難所・福祉避難所について
 - インフラについて



概要

◇ 概要

平成28年4月14日 21時26分、熊本県熊本地方を震央とする、震源の深さ11km、マグニチュード6.5の地震(前震)が発生、最大震度7を観測。

28時間後の平成28年4月16日、1時25分には震源の深さ12kmマグニチュード7.3の地震(本震)が発生、最大震度7を観測した。

当初、14日に発生したM6.5の地震が本震と考えられていたが、16日未明にM7.3の地震が発生したことを受け、気象庁は14日の地震を前震、16日の地震を本震との見解を発表した。

◇ 名称

平成28年4月15日、「平成28年(2016年)熊本地震」と命名。



震度6以上を観測した地震

◇ 気象庁が発表した震度6弱以上を観測した地震

発生時刻	震央地名	M	最大震度
4月14日 21時26分	熊本県熊本地方	6.5	7 (前震)
4月14日 22時07分	熊本県熊本地方	5.8	6弱
4月15日 00時03分	熊本県熊本地方	6.4	6強
4月16日 01時25分	熊本県熊本地方	7.3	7 (本震)
4月16日 01時45分	熊本県熊本地方	5.9	6弱
4月16日 03時55分	熊本県阿蘇地方	5.8	6強
4月16日 09時48分	熊本県熊本地方	5.4	6弱

◇ 4/14~4/16で震度6以上の地震が7回発生

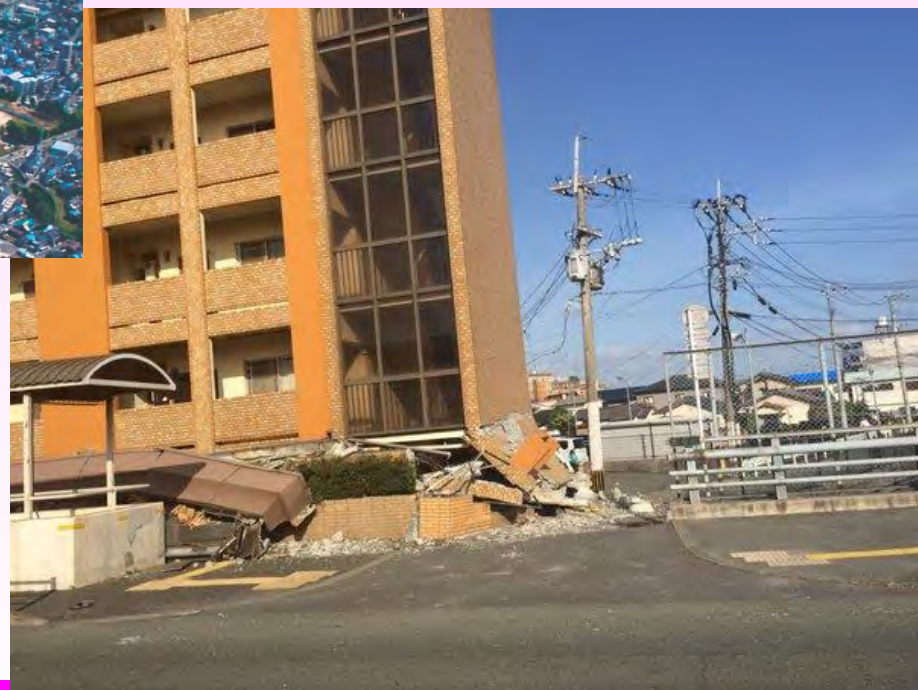


被害状況



屋根にブルーシートが
被さっている。

1階部分が潰れた事務所。



被害状況



多くの商業店舗で天井が崩落、夜間であったため客、職員は無事。

1970年代のマンション
旧耐震基準と考えられる。



被害状況(熊本城)



被害状況(益城町)



被害状況(阿蘇)



阿蘇山周辺は豊富な地下水を含んだ
火山灰質の地盤であったため、大規
模な地滑りが発生。鹿児島県もシラス
台地というゆるい地盤



被害状況（道路）



阿蘇大橋周辺の崩落により、国道、JRは不通となり、熊本市から阿蘇市、南阿蘇村への交通網は分断された。



空港の状況



天井などの崩落により一時閉鎖
離発着不能に。

4日後の4月19日(火)に再開。



高速道路・新幹線の状況



跨道橋(こどうきょう)の落下、陥没により
高速道路は不通。一部制限はあるが4月29
(金)に開通。



脱線によりJR・新幹線は不通に、JRは4月21日(木)
新幹線は4月28日(木)に再開

過去の地震

◇震度7以上の地震

発生年	震災名	震度	マグニチュード	死者・不明者	負傷者	住宅被害
1995年 1月	兵庫県南部地震 (阪神・淡路大震災)	7	7.3	6,432	43,792	639,686
2004年 10月	新潟県中越地震	7	6.8	68	4,805	123,664
2011年 3月	東北地方太平洋沖地震 (東日本大震災)	7	9.0	18,455	6,152	1,099,881
2016年 4月	平成28年熊本地震	7	6.5	68	1,652	80,657
		7	7.3			

日本建築学会によると、熊本県上益城郡益城町で約2,640棟を調査した結果、2000年以降に建築された家屋の倒壊・全壊は20棟程度と発表された。

阪神・淡路大震災を経て建築基準法が改正されたことによる一定の効果と考えられる。



耐震基準の想定

◇14日、16日と同一地点を2回、最大震度7の地震が発生し、1回目(前震)の地震は耐えたが、2回目(本震)の地震で倒壊するケースやその後も続く大きな余震で建物が倒壊するケースが発生した。

1回は耐えられたが、2回目は耐えられなかった

4月14日(前震)



4月16日(本震)





◇通りの左側は旧耐震基準、右側は新耐震基準導入後と考えられ、目立った被害は見られない。

拠点病院が機能停止

◇防災拠点の機能停止

益城町、八代市、宇土市、人吉市、大津町の5市町で倒壊の恐れなどにより庁舎機能を失うこととなった。

うち4庁舎は1960年～70代の建物で、旧耐震基準であった。

医療機関についても同様に、熊本市民病院では耐震基準を満たしていない病院に被害が集中、全国でも30%の病院では耐震化が進んでいない。



鹿児島支部の活動

まさか隣の熊本で大地震が起きるなんて

自法人の建物に被害は？

サダバード司令本部のマニュアル？

仕事を調整、優先順位変更



旧鹿児島紡績所技師館（異人館）

熊本での鹿児島支部拠点予定の車両



2週間分の
食料
飲料水
寝具
鍋・釜・食器

情報収集のパソコン
停電時の発電機
非常時の衛星電話
等々



情報収集

◇初動

「現地指令本部」として、発生翌日の4月15日に被災地入り、約3週間にわたって現地支援活動・情報収集・支援調整を行う。



◇主な情報収集訪問先

熊本県庁 熊本県社会福祉協議会

熊本市役所

益城町役場 益城町災害対策本部

益城町社会福祉協議会

益城町福祉避難所 南阿蘇福祉救援V C等々



支援物資

◇ 支援物資について

地震発生後、全国各自治体、各組織などから支援物資が届けられ、集積所には十分な支援物資が集まった。

しかし、避難所など、必要としている場所での支援物資は十分とは言えない状況にあった。

◇ 必要な場所、必要な人へ物資が届かなかった理由として

①道路状況

②情報錯綜による行政の情報集約不足が挙げられる。

道路は寸断され、あらゆるところで渋滞が発生、県や市町村では情報が錯綜し、物資を必要としている場所を把握できない状況にあった。

指定避難所でない避難所では行政に物資支援を断られるケースも発生。



集積所の状況



集積所に届けられた支援物資、
収容できず、支援物資の受入は
一時中止された。



物資支援・主な支援先

◇ 物資支援



◇ 主な支援先

老人総合福祉施設 グリーンヒルみふね グループホーム「せせらぎ」

社会福祉法人 綾友会「桜の丘」 福祉避難所 障害者支援施設 熊東園

福祉避難所 特別養護老人ホーム ひろやす荘 等



被災後の人的支援状況

◇ ボランティアについて

地震発生から約1週間で各社会福祉協議会によりボランティアセンターが開設され、センターでは、要請があった先へ参加者を派遣するマッチング業務を行っており、瓦礫撤去、清掃など震災の後片付けに関する業務が最も多かった。

◇ 課題

ボランティア参加者数が想定を上回り、ボランティアセンターでは、ニーズの掘り起しが追いつかず、ボランティアを断るケースも発生。



ニーズの掘り起しが追いつかなかった結果

災害対策本部兼福祉避難所となっている益城町保健福祉センターに高齢者を介助するスタッフが配置されていないとの情報から、当施設への鹿児島支部の介護職による介護支援入りを志願したがボランティアセンターを通すようにとの指示があり、ボランティアセンターを訪問・・・2時間並んだ末に瓦礫撤去の依頼となり介護支援入りはできなかった。

結局、福祉避難所施設へ直接訪問し、入浴介助などの支援を申し出て支援入りした。



ボランティアセンターの状況



【益城町ボランティアセンター】

【熊本市ボランティアセンター】



人的支援・主な支援先

◇ 人的支援



◇ 支援先（ケアマネ・リハビリ・社会福祉士・介護福祉士）

老人総合福祉施設 グリーンヒルみふね

福祉避難所 特別養護老人ホーム いこいの里

小規模対機能居宅介護事業所 あんず



避難所

◇ 福祉避難所の状況

一般避難所が被害を受け閉鎖されたことなどから、福祉避難所では一般避難者についても受け入れざるを得ず、福祉避難所として機能しない状況となった。

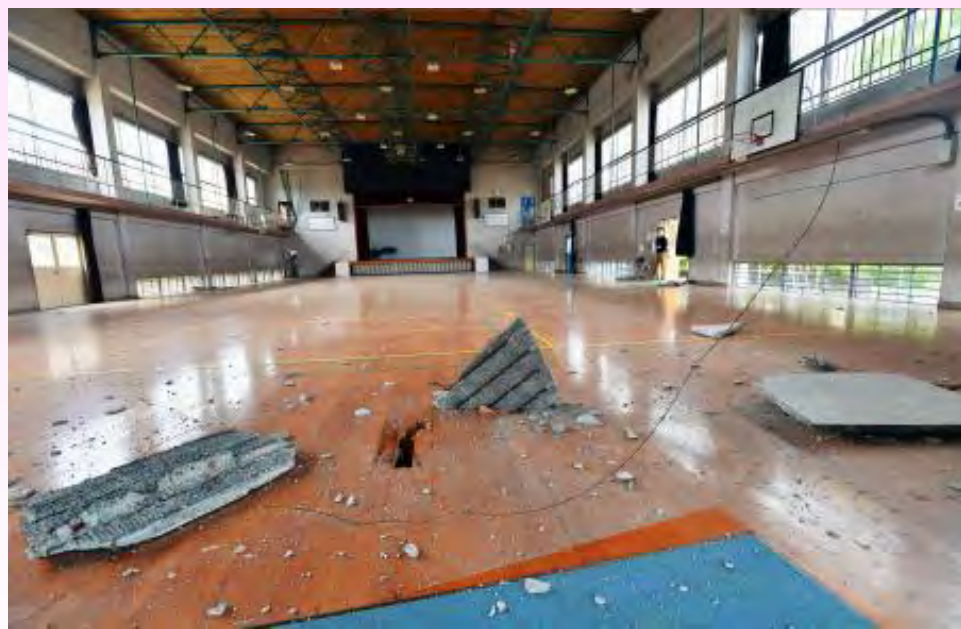
地域の在宅事業所の中には、高齢者を自主的に受入し、通常の定員を上回る高齢者が滞在したケースも見られた。

福祉避難所の周知不足から、支援を要する人も一般避難所に避難するケースも多々見られた。



避難所の状況

- ◇ 避難所として約560か所を指定しているが、指定避難所のうち70か所が被害を受け、閉鎖や一部閉鎖となった。
熊本市では171か所のうち30か所(17.5%)最も被害の深刻な益城町では、16か所のうち4か所が避難所として開設されなかったり一部使用できなかった。





【益城町総合体育】

【益城町役場前広】
避難所では避難者があふれ
屋外ですごす避難者が多数



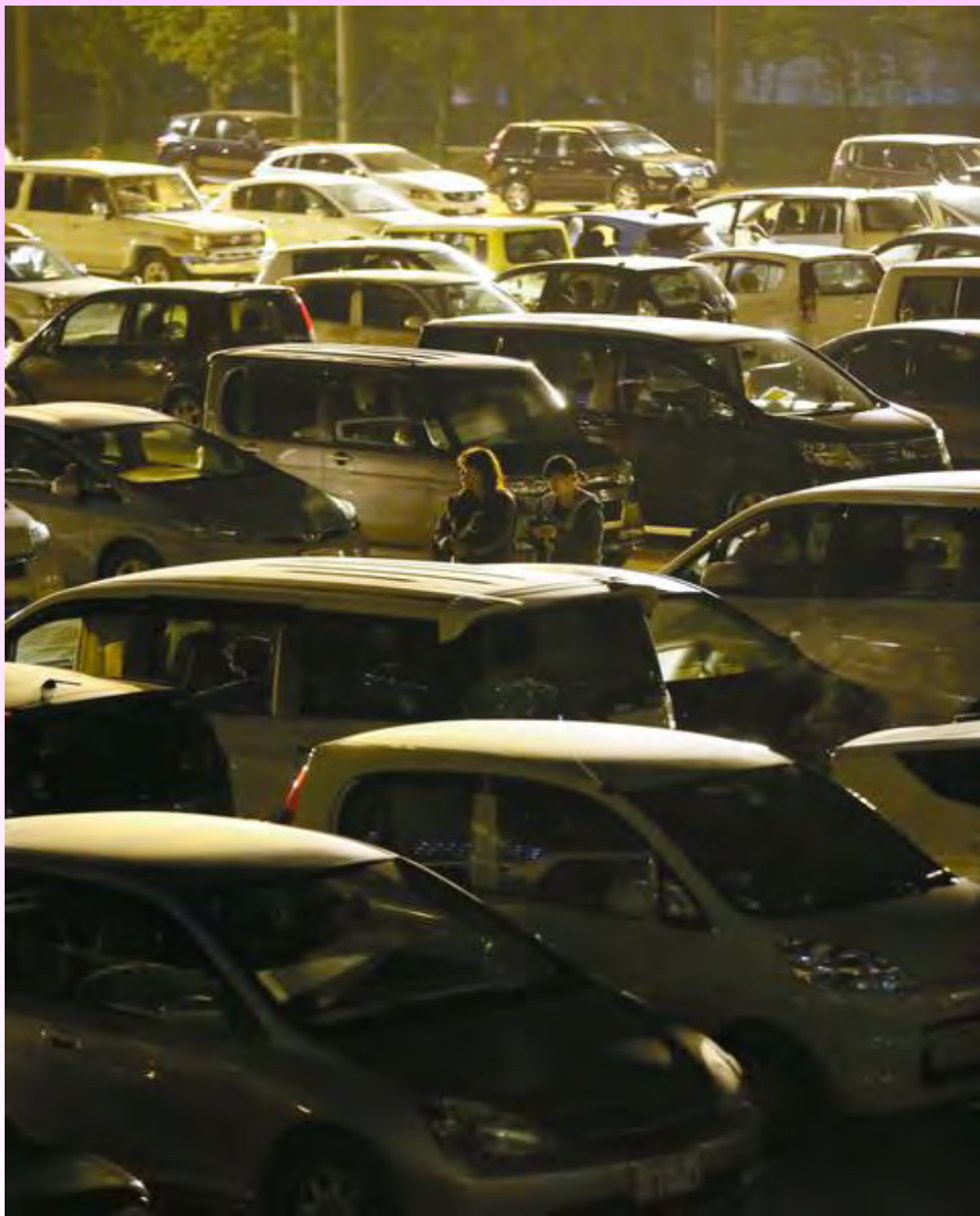


【長嶺中学校(一般避難所)】

【益城町保健福祉センター(福祉避難所)】

福祉避難所でも多くの一般避難者を受入れたため、福祉避難所として機能しなかった。





車中泊する避難者が多数



福祉避難所

◇ 福祉避難所

指定避難所の被災による閉鎖などで収容能力が不足した結果、一般の避難所に避難できなかった被災者を福祉避難所で受入れたことにより、本来の機能は果たせない状況となった。

福祉避難所は民間の高齢者施設などが指定されていることが多く、平時より最低限のスタッフで運営しているため、福祉避難所として要配慮者を受入れするには人員が不足すると考えられるが、有事においては避難者を選定することは困難である。

一般避難所の使用不可時の対策として一般避難者＋要配慮者を含めた避難所運営方法も検討課題。



福祉避難所

熊本地震では介護スタッフの派遣体制整備に2週間程度を要した介護必要度の低い方は一般避難者の見守りで可能であるが、重度の方については住み慣れた・・・地域にこだわらず環境が整った他の被災地以外の施設、事業所に避難することもひとつの選択肢と考えられる。

熊本地震では厚生労働省より避難先市町村の地域密着型サービスの利用について、柔軟に対応可能との連絡が発出されている。



自主開設避難所



【熊本学園大学(自主開設避難所)】

熊本学園大学では独自に避難所を開設、地域の高齢者や障害者などの
受入れを行った。



福祉避難所となった介護施設の状況

◇ 熊本県下の介護事業所では介護職員が不足する状況となった。

理由として

①避難所として地域の一般高齢者を受入

②ショートステイ利用者の受入

③介護スタッフの被災による出勤困難

④平常時より慢性的な介護スタッフ不足

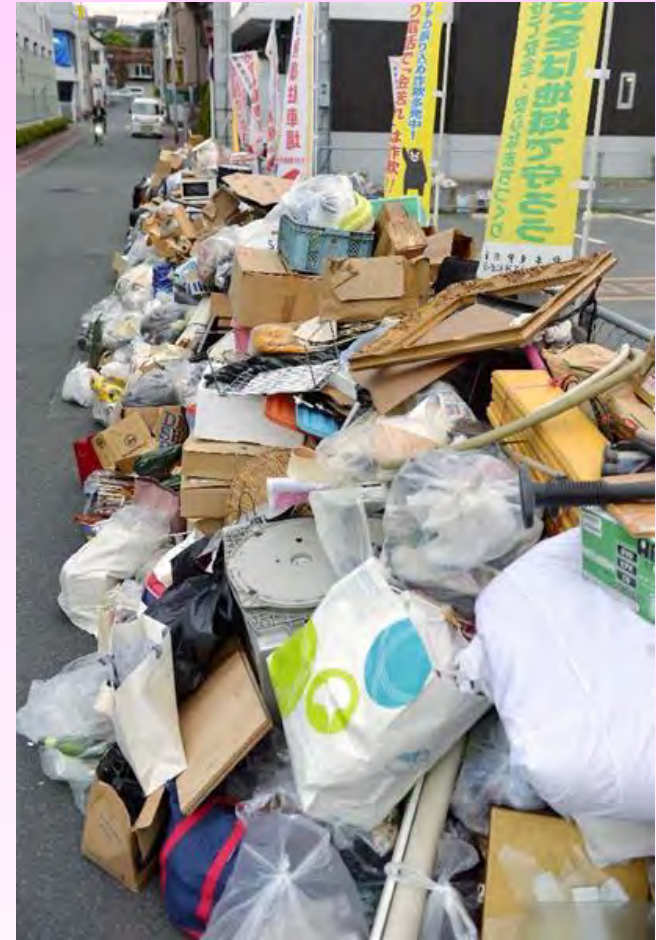
◇ どの事業所に、どのような職種が、どの程度不足しているか等の情報が一元的に集約できなかったことにより、介護スタッフの支援実施まで時間を要することとなった。

◇ プロジェクトB

厚生労働省は全国各自治体・団体へ派遣可能な介護スタッフの集約を行い九州・山口を主体に派遣可能スタッフが登録された。

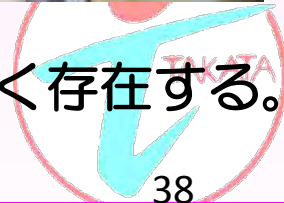


災害廃棄物



災害廃棄物は195万トン、熊本県
は2年以内に処理するとしている。

現在も熊本市・益城町などでは収集されていない災害ゴミが多く存在する。



インフラ

◇インフラの復旧

地震発生後、1週間～2週間で熊本市内では電力、都市ガス、水道の9割が復旧。

全国の自治体職員、水道関連事業者、ガス会社、電力会社などの支援が早期に、多数ありライフライン、交通網などは急速に復旧した。

コンビニの復旧が早かった「コンビニにもインフラの一部」



医療機関

◇医療機関の状況

建物損壊・医療機器破損などの被害があった医療機関は熊本県内で約3割、450施設となり、うち4施設では建物損壊により他の医療機関へ入院患者搬送が必要となる事態であった。

倒壊の恐れから熊本市民病院(437床)などは入院患者を転院のため大量搬送する事態となった。

◇人口透析医療は、建物被害、機器故障、停電、断水、水質悪化により患者受入が困難となった医療機関は最大で全体の3割、2,000人が透析不可となった医療機関は日本透析医会のHP「災害時情報ネットワーク」のメールリンクを通じて情報交換を行い、概ね熊本県内の医療機関での対応出来た。



医療機関の状況



【DMAT】



今後の課題・提案

- 身分証明、各種保険は必須
- 先遣職員のスキル
- 情報収集には、やはり組織間横串が必要
- ホームページの有効利用で情報収集
- 指令本部としての軍資金の使い方



旧鹿兒島紡績所技師館（異人館）

派遣準備

- 派遣職員のボランティア保険加入は必須
仕事中は、職場保険が適用されるが業務以外はボランティア保険で対応
- 身分証明(名刺・ネーム等)が必要
- 万一の事故に備えて車両保険の確認
- 派遣者は地元出身者が断然有利
- 派遣者には、軍資金が必要



身分証明がないと（訪問先でどこのだれ？）



特定非営利活動法人
災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバード
鹿児島支部



小川 浩一

Kouichi Ogawa

〒892-0822 鹿児島県鹿児島市泉町2番3号
そうしん本店ビル4階
TEL099-226-8036 FAX099-226-8874
Mail k-ogawa@gyokushoukai.com

身分証明は必須

臨時のネームで活動開始

28
平成27年度 ボランティア活動保険加入カード

加入者名 玉昌会 始良地区 様
(団体・グループ名 飯休町一)

加入プラン (A) ・ (B) ・ 天災A ・ 天災B

補償期間 平成28年 4月19日～平成28年3月31日

社会福祉法人 全国社会福祉協議会



NPO法人
サンダーバード 鹿児島支部

おがわ こういち
小川 浩一

Kouichi Ogawa



医療法人 玉昌会グループ

GYOKUSHOUKAI Medical Corporation

GYOKUSHOUKAI Medical Corporation

先遣隊員のスキル

- 土地勘のある人材（地元出身者）
- 知りあいの多い人材（組織）
- コミュニケーション能力が必要

結果 銀行員が大活躍した

提案 全国の地銀に会員加入の声掛けしてはどうか



渋滞道路が情報収集の障害



給油待ちの車両で渋滞が発生。
レギュラーガソリンは売り切れ、
ハイオクを給油する事態に。
3日程度で復旧した

道路寸断により渋滞が、多くの
場所で発生。

車が動かない＝情報が取れない



支援の調整記録等（同じ数だけ返信している）

4月14日	木	21:26	地震発生 震度7
		10:28	TB事務局より 安否確認
		0:03	地震発生 震度6強
		6:04	TB事務局へ 状況報告
		9:24	TB事務局より 東北福祉会からの情報共有
4月15日	金	9:30	TB事務局より 指令本部依頼
		9:40	玉島会 法人へ報告東議了承、情報収集派遣者選定
		10:01	TB事務局より 鹿児島支部の指令本部発足
		11:25	TB事務局より 岩手と連携出来ないか打診あり
		16:31	TB事務局より 東北福祉会からの熊本DCAT情報共有
4月16日	土	17:00	鹿児島支部 熊本銀行からの出向者を派遣 情報収集開始
		22:30	鹿児島支部 益城町役場・災害対策本部訪問ヒヤリング
		0:38	鹿児島支部 派遣者より15日の活動報告届く
		9:00	鹿児島支部 被災状況確認 車移動に時間がかかる
		10:32	鹿児島支部 派遣者より状況報告
4月17日	日	13:00	鹿児島支部 社福「グリーンヒルみふね」訪問ヒヤリング
		16:00	鹿児島支部 熊本県庁健康福祉政策課訪問熊本DCAT情報収集
		16:11	TB事務局より 岩手からの情報共有
		17:03	東北福祉会と 情報確認、今後の動き確認
		19:50	TB事務局より 情報確認、今後の動き確認
4月18日	月	22:32	鹿児島支部 派遣者より16日の活動報告届く
		19:50	TB事務局より 高知支部が支援できるとの情報
		2:12	鹿児島支部 TB事務局へ状況報告
		7:24	鹿児島支部 派遣者より支援拠点場所の相談
		7:53	東北福祉会より 情報確認共有
4月19日	火	10:23	TB事務局より 支部の支援体制情報共有
		12:48	TB事務局より 南阿蘇への支援要請有
		13:00	鹿児島支部 派遣者へ南阿蘇への道路状況確認指示
		14:41	鹿児島支部 派遣者より南阿蘇への道路状況危険との情報確認
		14:45	TB事務局より 会員からの南阿蘇支援要請情報共有
4月20日	水	21:09	TB事務局より 岩手からの南阿蘇支援要請情報共有
		22:32	TB事務局より 岩手からの南阿蘇情報共有
		9:00	鹿児島支部 法人と支援活動について協議
		10:00	鹿児島支部 鹿児島支部からの支援要員選定、打診、東議
		10:35	TB事務局より 会員「旭川荘」の支援活動共有
4月21日	木	14:00	鹿児島支部 派遣者が物資支援について熊本県庁問合せ
		15:55	鹿児島支部 派遣者より物資支援の報告
		17:00	鹿児島支部 支援物資調達開始、支援拠点用バス整備開始
		18:11	TB事務局より 宮崎「FRAC」の活動共有
		19:21	鹿児島支部 派遣者より18日の活動報告届く
4月22日	金	9:00	鹿児島支部 支援派遣者のボランティア保険加入
		10:00～	鹿児島支部 支援物資調達、支援拠点用バス整備
		14:47	TB事務局より 宮崎「RAC」の活動報告共有
		16:57	鹿児島支部 派遣者よりGHセセラぎの情報有
		20:40	鹿児島支部 派遣者19日の活動報告
4月23日	土	8:00	鹿児島支部 熊本支援開始3名移動
		12:00	鹿児島支部 拠点施設「グリーンヒルみふね」到着、支援物資
		13:00	鹿児島支部 「GHセセラぎ」にて情報収集
		18:49	TB事務局より 他組織より物資支援有りの情報
		20:20	TB事務局より サポートセンター情報共有
4月24日	日	終日	鹿児島支部 情報収集 医師会・益城社協「グリーンヒルみふね」リハ提供
		終日	鹿児島支部 社福「緑友会」へオムツ提供
		10:23	TB事務局より 全国小規模多機能事業者連絡会との連携共有
		12:05	TB事務局より サポートセンター情報共有
		20:00	鹿児島支部 派遣者より21日の活動報告届く

4月22日	金	終日	鹿児島支部	情報収集 益城町避難所・社協・災害対策本部 福祉避難所・南阿蘇
		0:00	TB事務局より	静岡支部「湖成会」の支援準備情報共有
		0:40	TB事務局より	全国小規模多機能事業者連絡会との連携情報共有
		5:32	鹿児島支部	静岡支部「湖成会」と物資支援について情報共有
		8:26	静岡支部より	返信確認
4月23日	土	終日	鹿児島支部	「グリーンヒルみふね」リハ提供
		終日	鹿児島支部	情報収集 社福「耕心会」社福「ましき苑」 社福「慈光会」社福「錦光会」
		終日	鹿児島支部	派遣者交代要員確認、依頼物資積込み
		10:35	TB事務局より	他組織より物資支援有りの情報
		7:00～	鹿児島支部	派遣者交代、物資運搬
4月24日	日	10:23	支部会長と	熊本訪問について情報共有
		13:00	鹿児島支部	南阿蘇村情報収集
		15:00～	鹿児島支部	社福「耕心会」オムツ300枚、水200ℓ提供 社福「慈光会」水200ℓ提供
		0:14	TB事務局より	日本ホスピス・在宅ケア研究会情報共有
		終日	鹿児島支部	「グリーンヒルみふね」リハ提供
4月25日	月		鹿児島支部	社福「耕心会」カップめん50食、紙皿・コップ1000枚
			鹿児島支部	熊本東区に物資一次保管場所確保（富田様方）
		11:07	高知支部から	現地状況連絡
		11:45	宮崎（永友氏）	菊陽町情報有り
		13:55	高知支部から	現地状況写真提供有り
4月26日	火	16:01	鹿児島支部	会員「旭川荘」へ支援依頼
		18:06	旭川荘より	返信有り
		19:56	旭川荘より	救援物資情報の訂正依頼
		21:22	宮崎（永友氏）	支援について相談有り
		22:12	CMテック（宇佐美氏）	支援について相談有り
4月27日	水	終日	鹿児島支部	「グリーンヒルみふね」リハ提供
		終日	鹿児島支部	小規模多機能情報収集
		11:10	TB事務局より	秀峰会への支援準備情報共有
		13:42	TB事務局より	秀峰会への支援準備情報共有
		13:52	高知支部から	活動内容連絡有り
4月28日	木	14:04	鹿児島支部	各支部へ高知支部の支援活動完了報告
		15:00～	鹿児島支部	派遣交代要員確認、支援物資積込み
		終日	鹿児島支部	派遣職員交代
		13:17	支部会長と	派遣職員情報紹介
		13:00	鹿児島支部	南阿蘇村視察情報収集
4月29日	金	14:00	鹿児島支部	小規模多機能施設「杏」飲料水運搬ボランティア
		14:02	宮崎（永友氏）	支援について相談
		20:44	南阿蘇ボラセン	支援派遣調整
		10:30	鹿児島支部	支援派遣調整
		終日	鹿児島支部	情報収集 静岡支部（湖成会）と 支援派遣調整
4月30日	土	16:33	鹿児島支部	支援派遣調整
		17:56	鹿児島支部	広島（白寿会）支援情報共有
		17:22	TB事務局より	広島（白寿会）支援情報共有
		18:01	TB事務局より	益城町高齢者施設の入浴支援依頼
		鹿児島支部	秀峰会への支援依頼	

4月29日	金	終日	鹿児島支部	情報収集 益城中央公民館・熊本市・他避難所
		終日	鹿児島支部	特養施設介護支援
		7:49	TB事務局より	支援派遣調整
		21:47	支部会長と	支援派遣調整
4月30日	土	終日	鹿児島支部	情報収集 益城中央公民館・熊本市・他避難所
			鹿児島支部	派遣職員交代
		8:04	鹿児島支部	東北福祉会と支援調整
		14:18	鹿児島支部	広島(白寿会)支援調整
		11:59	支部会長と	支援派遣調整
		17:09	支部会長と	支援派遣調整
		終日	鹿児島支部	情報収集 益城中央公民館・熊本市・他避難所
5月1日	日	終日	鹿児島支部	特養施設介護支援
			鹿児島支部	静岡支部(湖成会)支援依頼
		10:22	支部会長と	支援派遣調整
		12:43	南阿蘇ボラセン	支援派遣調整
5月2日	月	17:09	支部会長と	南阿蘇情報共有
		20:53	鹿児島支部	広島(白寿会)支援調整
		終日	鹿児島支部	情報収集
		終日	鹿児島支部	特養施設介護支援
		9:53	鹿児島支部	広島(白寿会)支援調整
		10:36	秀峰会より	支援提案有り
		13:36	静岡支部(湖成会)	支援派遣調整
5月3日	火	13:41	支部会長と	プロジェクトB情報共有
		15:28	鹿児島支部	熊本老健協会にプロジェクトB確認
		17:30	鹿児島支部	広島(白寿会)支援調整
		19:20	鹿児島支部	広島(白寿会)支援調整
			鹿児島支部	支援撤収
			鹿児島支部	日本財団助成金資料確認
		18:38	広島(白寿会)と	南阿蘇情報共有
5月4日	水	23:41	広島(白寿会)と	南阿蘇情報共有
		14:27	秀峰会より	南阿蘇支援提案有り
5月6日	金		支部会長と	日本財団助成金資料情報共有
		10:57	支部会長と	全国小規模多機能連絡会支援情報共有
		14:17	静岡支部(湖成会)	支援派遣調整
5月7日	土	17:21	広島(白寿会)と	南阿蘇支援情報共有
		8:39	静岡支部(湖成会)	南阿蘇支援情報共有
		9:09	支部会長と	南阿蘇支援情報共有
5月9日	月	15:17	鹿児島支部	花へんろ情報収集
		16:42	鹿児島支部	花へんろ情報収集
		16:59	鹿児島支部	花へんろ情報収集
5月10日	火	11:13	TB事務局より	静岡支部からの南阿蘇支援情報共有
		13:26	鹿児島支部	花へんろ情報収集
5月13日	金	14:16	鹿児島支部	熊本県社協及び花へんろ情報収集
		18:19	鹿児島支部	NPO法人 災害看護支援機構と情報共有
		8:59	広島(白寿会)より	南阿蘇支援情報共有
5月16日	月	14:52	鹿児島支部	鹿児島支部の方向性共有
		14:36	秀峰会より	南阿蘇支援情報共有
5月19日	木	10:56	秀峰会より	南阿蘇支援情報共有
		14:18	鹿児島支部	東北福祉会より現状の状況把握依頼
5月20日	金	10:24	鹿児島支部	熊本県健康福祉部へ支援状況確認
		11:37	TB事務局と	熊本県健康福祉部へ支援状況共有
		17:10	秀峰会と	南阿蘇支援情報共有
5月24日	火	17:51	秀峰会と	南阿蘇支援情報共有

情報の整理・支援調整

◇ 情報収集 鹿児島支部はどうだった？

熊本から出向の土地勘のある銀行員のおかげで翌日から情報収集に動けた。

銀行員宅提供で派遣者は、宿泊食事等恵まれた環境で支援活動を行えた。



情報の整理・支援調整

◇支援組織・団体調整

※指令本部の役割

情報収集～情報整理～支部や会員、その他の団体組織に支援依頼するのが役割。

今回は会員の自主的協力で順調に調整できた。

◇錯綜する情報の精査・整理

※実際の現地確認が大事。

※大きな声で支援要請する施設・事業所には支援が集まる？



- ◇ 東日本大震災の教訓が生かされず
情報収集のため、現地に同じ事を何度も聞いた。
申し訳なく思いつつ、方法が見つからなかった。
- ◇ 情報の共有
サンダーバードのメールリンクの使い方がわからなかった。
- ◇ 指令本部から預かった軍資金の具体的な使い方が不明



普通に 仕事ができます。
医療介護を受けられます。
暮らせます。

感謝を忘れていたような気がします。

ありがとうございました

